

C O N T E N T S

3. SHV 音響技術と W 杯パブリックビューイングについて
 大久保 洋幸 中山 靖茂
- 【特集 ①：アンプデバイス】
10. 米 インターナショナル・レクティファイアー社 D 級アンプ用
 デバイスの紹介 西村 康
15. デバイスメーカーとしての「音」の取り組み：電子の気持ちに
 なって 瀬志本 明
- 【特集 ②：ミュンヘン・ハイエンドショー】
19. ミュンヘン・ハイエンドショー・レポート 森 芳久
30. HIGH END 2014 in Munich 出口 昌利
34. High End 2014 in Munich の舞台裏 島 幸太郎
38. 出展者から見たミュンヘン・ハイエンド 2014 石見 周三
- 連載 『試聴室探訪記』 第 24 回 谷口 ともり・森 芳久
42. ～谷口ともり、魅惑のパノラマ写真の世界～
 T 氏のオーディオ&ホームシアタールーム訪問
- JAS インフォメーション
45. 平成 26 年総会及び 5、6 月度理事会・運営会議報告
49. 協会事業関連資料集

7月号をお届けするにあたって

平年よりやや遅れたようですが、今年も梅雨が明け本格的な夏がやってまいりました。猛暑の季節、全国的に高温の日々が続いておりますが、熱中症などにはどうかお気をつけ下さい。

先月大いに盛り上がったサッカー・ワールドカップですが、日本とブラジルで実施されたパブリックビューイングで使われたスーパーハイビジョン (SHV) と 22.2ch 音響について、NHK エンジニアリングシステム並びに放送技術研究所より寄稿いただきました。

今月の特集①はアンプデバイスを取上げました。音響機器の小型化・ポータブル化の進歩にともなってアンプ用デバイスの進化が続いていますが、オーディオ用途として特に音質に注目した最新デバイスの動向を、IR ジャパン、新日本無線の 2 社から報告していただきました。特集の②は 5 月に開かれたミュンヘン・ハイエンドショーについてです。展示会全体の報告に加え、実際に出展された D&M、エミライ、スペックの各社より寄稿いただきました。欧州においてはオーディオ産業が未だ衰えることなく新たな勢いをも見せている、という雰囲気を感じていただけるかと思えます。日本のオーディオも更に頑張らねばと思う次第です。

連載の試聴室探訪記は個人のリスニングルームを訪問させていただきました。たいへん興味深い探訪となりましたのでぜひご覧下さい。また読者各位のなかで、探訪記で紹介したいとか、ここは是非訪れて欲しい、といった所をご存知の方は事務局までお知らせいただければ幸いです。今後の探訪記での参考にさせていただければと思います。

☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

(委員長) 君塚 雅憲 (東京藝術大学)

(委員) 穴澤 健明・稲生 眞 ((株) 永田音響設計)・大久保 洋幸 (日本放送協会)

高松 重治 (アキュフェーズ (株))・春井 正徳 (パナソニック (株))・森 芳久・八重口 能孝 (パイオニア (株))

山崎 芳男 (早稲田大学)・米田 晋 ((株) ディーアンドエムホールディングス)